

R 5見直しルートについて

自転車道に求められる「安全性」、「自転車利用者の快適性」、「整備のしやすさ」などの観点から、以下のポイントに基づき「R 4見直し検討ルート」の比較検討を実施。

①より右左折箇所の少ないルート

可能な限り右左折の少ない・直線的なルートとすることで、自転車利用者の安全性や快適な走行に資するものとする。

②段差や起伏が少ないルート

急峻となるような縦断線形にならない安全で快適に走行可能なルート。

③通過交通の影響

現在の交通量を踏まえた、整備後の自転車道利用者や、既存の利用者（自動車・歩行者）の安全性や利便性への配慮。

④用地確保・支障物件

新たな用地確保の必要性や対応が必要な支障物件の有無・多寡、および、その解決・解消に要する時間的コストなどを考慮。

⑤その他

良好な景観

地域の住民や道路利用者の意見・支援 など

以上